

場所・面積

埼玉県飯能市、0.15 ha

管理目的

本サイトの湿地・草原等の自然生態系を保全するとともに、自然とのふれあいによる自然学習及び野遊び体験の拠点として整備し、隣接する「飯能・西武の森」全体の生物多様性、里山景観の保全を目指す。

サイト概要

里川、ビオトープ池等の湿地、草原、ハンノキ・エゴノキ等の樹木の中に、エコツアー管理小屋、石窯を有する。

土地利用の変遷

- 天覧山の谷津田は、戦後しばらくすると田んぼや畑が放棄され、ヨシ、ササが繁茂していたが、保全運動や取得を契機に里山整備が開始され、水辺の生き物が生息するビオトープ池や草原となった。
- 本サイトの1357番は、田んぼ放棄地だったのを2000年頃から当会が借用して小屋を建て田んぼとして数年使用したが、イノシシに荒らされたためビオトープ池にして今に至る。2008年には埼玉県の補助金で石窯を設置した。
- 1354番3は、戦後畑で使用していたが放棄され笹やぶになっていたのを、取得後に笹やぶを刈り払い草原にした。天覧山では開放空間は少ないため草原性昆虫等にとって貴重である。

サイト周辺の環境

- 埼玉県飯能市の里山地域に位置し、市街地に隣接する天覧山・多峯主山緑地（飯能・西武の森など含む約200ha）の東端・入口にあり、諏訪沢が流れるミゾソバ等の湿地及び草原、さらに周囲にヒノキ・コナラ等の混交林がある多様な自然で構成されている。

アピールポイント

- 本サイトは小さいが、生態系保全のための水辺や草地等のサイト内整備はもとより、天覧山・多峯主山緑地全体の生態系保全、エコツアー、自然学習、たき火・調理など野遊びの拠点として活用されているほか、当会が多種類のモニタリング調査を継続的に実施することにより、里山保全活動の検証、提言を行っている。



生物多様性の価値

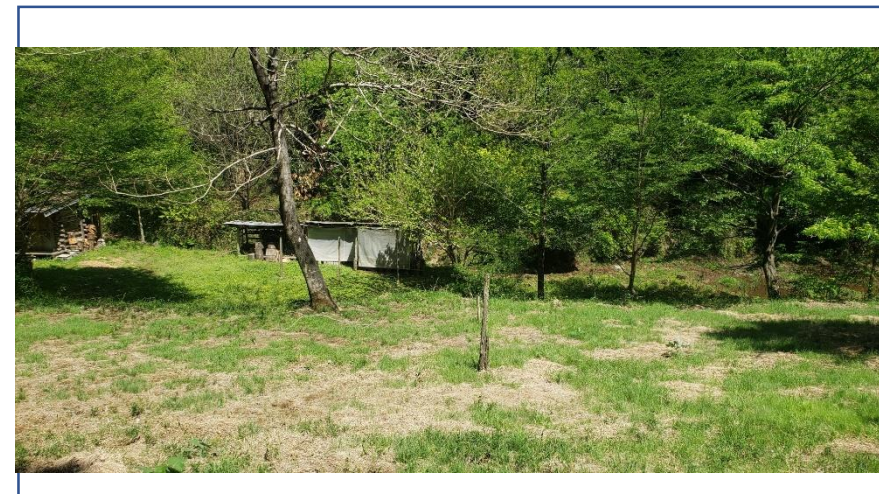
価値（1）公的機関等によって、生物多様性保全上の重要性が既に認められている場

【選定されている制度名】

重要里地里山 11-5 天覧山・多峯主山

【選定理由や内容】

里地里山に特徴的な動植物が生息・生育。良好な水辺環境と水田・湿地環境が保全・再生されている。（環境省HPから抜粋）



（奥が1357番、手前が1354番3）
写真の説明：道からのほとけどじょうの里全景（2023.4.18）



写真の説明：入口の看板（2018.12.28）

生物多様性の価値

価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

【場の概況】

天覧山・多峯主山周辺には多数の希少種が確認されているが、本サイトには湿地性の動植物を中心に多くの希少種が生息していることが飯能市の自然環境調査（R2.3）や申請者により確認されている。

【主な植生】

湿地及び草原植生

【確認された主な動植物】

植物：タカネマスクサ、ネコノメソウ、ツリフネソウ

哺乳類：ムササビ、アナグマ、タヌキ

鳥類：ノスリ

爬虫類：ヤマカガシ、シマヘビ

両生類：ヤマアカガエル、アズマヒキガエル、ニホンアカガエル など

魚類：ドジョウ、ホトケドジョウ

昆虫類：オニヤンマ、ゲンジボタル など

甲殻類：ヌカエビ、サワガニ



写真の撮影年月：2007年2月10日
写真の説明：ヤマアカガエルの産卵



写真の撮影年月：2009年8月23日
写真の説明：ホトケドジョウ

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

天覧山・多峯主山周辺には多数の希少種が確認されているが、本サイトには湿地性の動植物を中心に多くの希少種が生息していることが飯能市の自然環境調査（R2.3）や申請者により確認されている。

【主な植生】

- ・ 諏訪沢が流れるミゾソバ等の湿地及び草原、さらに周囲にはヒノキ・コナラ等の混交林がある多様な自然で構成されている。

【確認された主な動植物】

- ・ 林にはシジミチョウ類、鳥や哺乳類、草原にはアズマヒキガエル、タカネマスキサ等、水路・池にはホトケドジョウ、アカガエル類、ホタル類、トンボ等の希少な生物が生息し、申請者の継続的な保全作業により維持されている。

【生態系サービス】

○文化的サービス提供の場

毎月、その季節に合った観察会（山桜や新緑、ホタル等）を開催している。
エコツアーではサイト内にある石窯で参加者にピザ焼きや自然観察を体験してもらい、より、自然を楽しんでもらっている。



写真の撮影年月：2019年11月10日

写真の説明：草原の管理（詳細は左側<添付資料>中に記載）



写真の撮影年月：2022年10月23日

写真の説明：ビオトープ池の管理（詳細は左側<添付資料>中に記載）

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

天覧山・多峯主山周辺には多数の希少種が確認されているが、本サイトには湿地性の動植物を中心に多くの希少種が生息していることが飯能市の自然環境調査（R2.3）や申請者により確認されている。

【確認された希少種】

環境省レッドリスト2020及び埼玉県レッドデータブック掲載種として、植物6種、哺乳類1種、鳥類1種、爬虫類3種、両生類4種、魚類2種、昆虫類7種、甲殻類2種の生息・生育が確認されている。確認された主な希少種は以下のとおりである。

植物：タカネマスクサ（埼玉県NT）、ネコノメソウ（埼玉県NT）

哺乳類：ムササビ（埼玉県NT1）

鳥類：ノスリ（埼玉県NT2）

爬虫類：ヤマカガシ（埼玉県NT2）、シマヘビ（埼玉県EN） など

両生類：ヤマアカガエル（埼玉県NT1）、アズマヒキガエル（埼玉県VU）、ニホンアカガエル（埼玉県VU） など

魚類：ドジョウ（環境省NT）、ホトケドジョウ（環境省EN、埼玉県CR）

昆虫類：サラサヤンマ（埼玉県NT2）、ゲンジボタル（埼玉県VU） など

甲殻類：ヌカエビ（埼玉県NT2）、サワガニ（埼玉県NT2）



写真の撮影年月：2007年2月10日

写真の説明：ヤマアカガエルの産卵



写真の撮影年月：2009年8月23日

写真の説明：ホトケドジョウ

サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
<p>【管理計画の内容】</p> <p>ビオトープ池・水路・草原</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に流入した土砂をかい出したり、獣害で荒らされた土手等を修復するなど水辺を継続的に整備。 ・秋に「かい掘りエコツアー」を開催し、都市住民に土砂のかい出しを体験させている。 ・草原は年数回アズマネザサ等の草刈りを実施し、ダンドボロギク、ベニバナボロギク等の外来種を駆除し、草丈を低く抑えている。 ・月2回の当会による定例作業により、アズマネザサ、草原の刈り払い、間伐、水路・ビオトープ池の整備による里山景観を維持している。 	<p>【モニタリング対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物、カヤネズミ、カエル類、チョウ類、ホタル類、鳥類（モニタリングサイト1000里地調査） <p>【モニタリング場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東谷津・ほとけどじょうの里近隣を含む天覧山・多峯主山一帯 <p>【モニタリング手法】</p> <p>モニタリングサイト1000里地調査マニュアルによる調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物：ルート上の種類別花・蕾・実の調査（毎月1回） ・カヤネズミ：地区別の巣数の調査（7月、11月：2回） ・カエル類：地区別の種類別の卵塊数の調査（1～3月：数回） ・チョウ類：ルート上の種類別個体数の調査（4～11月：月2回） ・ホタル類：地区別の種類別の個体数調査（6～7月） ・鳥類：ルート上の種類別個体数調査（繁殖期、越冬期） ・中・大型哺乳類：カメラトラップ調査（春～秋） <p>【実施時期及び頻度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記のとおりマニュアルによる <p>【実施体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会